

古今東西の処刑道具を集めたクローズドサークルで  
ミステリ作家6人が見立て殺人の犠牲に!?

第12回アガサ・クリスティー賞  
大賞受賞の著者による  
本格ミステリへの挑戦状!

# 処刑館殺人事件 西式豊

定価2310円(税込)  
四六判並製  
早川書房

三週間前にデビュー作が  
刊行されたばかりの新人

ハードボイルド系  
企業ミステリ作家

元書店員から  
直森賞候補作家に

デビュー作が直森賞候補  
現役医師による医療もの

筋金入りの  
本格ミステリ作家

唯一デビューできていない  
高卒のフリーター

中谷淳弥

本格ミステリでよくある、  
文字通りの〈館〉だね。

倉北浩介

ちよつと待ってよ、  
これってマダムミスなんだよね。

詩苑寺きめら

ギロチン、ですよ。

朱堂亜妃

趣向の二環ってことですか?  
なんだか気味が悪いけど

緋川劉人

この部屋の主は、人を残酷な死に  
至らしめる道具全般に対して、  
並々ならぬ興味を抱いている。

鳥飼バーディア

まるでこれから、連続殺人事件が  
起こりそうなシチュエーション  
だとは思いませんか?

この館に招かれたお前たちは、ひとり残らず罪人である。  
なぜならば、お前たちは皆、ミステリ小説家だからだ。